

海洋教育に関する 国土交通省の取組み

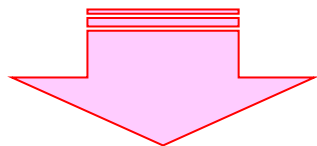
令和6年6月

国土交通省海事局 海洋教育・海事振興企画室

四方を海に囲まれ、エネルギー資源を海外に依存している我が国において海事産業は

- ・ 社会経済の発展と国民の生活の安定を図る基盤
- ・ 海事産業が集積している地域の経済と雇用を支える重要な産業
- ・ 海洋資源・エネルギーの開発は、将来の日本を支える成長分野

我が国の海洋国家としての維持成長や海事産業の国際競争力の強化のためには、国民、特に若年層の海洋や海事産業への関心や親近感の喚起が重要



**国民の目に触れる機会が少ない海洋や海事産業に
目を向けてもらい、理解増進を図る**

次世代を担う子どもや若者を中心とした国民に対する 海洋・海事への理解と関心の喚起

小中高校における海洋教育（海事教育）の推進
海や船に触れる機会の創出と、海洋・海事に関する情報発信



海洋教育プログラム

海洋教育プログラム（教員の学習指導案の例）の作成

【社会科指導案】海事教育を授業に導入する際の指導方法の提案

【副教材資料の活用】授業で活用する資料を選択する際の参考

【社会科以外の科目等での活用】他教科での海洋教育を提案

複数の学校において試行授業を実施し、効果測定及び改善を図った。



海洋教育実施の支援体制整備・成果物の普及による効果的な海洋教育の実施

⇒ 児童・生徒・教員・保護者に海洋や海事産業への理解増進を図る

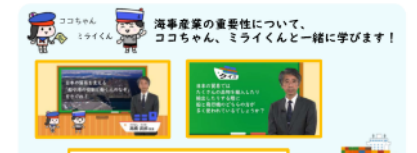
海洋教育プログラムの普及

- ・作成した海洋教育プログラムを海事局HPで公開中
海洋教育カリキュラム・マネジメント例
- ・小中学校の学習指導案の例を作成し海事局HPで公開中
小学校5年生社会科4種類、6年生社会科2種類、中学校地理的分野3種類
- ・海洋教育プログラムを用いた試行授業動画を海事局HPで公開中
小学校5年生社会科5授業、中学校地理的分野4授業
- ・小・中学生教育者向け海洋教育PR資料の配布
(令和6年度)各教科等担当指導主事連絡協議会(文部科学省)にて配布

PR資料より

社会科における海洋教育の推進 海事産業の重要性を伝える授業動画

- ▶ 四方を海に囲まれた日本にとって、海運や造船、港湾などの海事産業は、私たちの暮らしや経済を支える不可欠な社会インフラであり、我が国の **貿易量の99.6%、国内物流の約4割**に海上輸送が占めています。
- ▶ しかし、海事産業は、人の目に触れることが少ないため、その役割や重要性を正確に知る機会が多くありません。我が国が、海洋国家として持続的に発展していくためには、国民一人一人が子供の頃から、海洋や海事産業に関心や関与感をもち、その重要性を認識することが必要となります。
- ▶ また、「海上輸送」「造船」「港湾」などの海事産業に関して、小・中学校学習指導要領(平成29年3月告示)での記載が充実し、学校教育の学習内容として明確に位置づけられました。
- ▶ そこで、子供たちに海事産業の重要性を伝えるため、GIGAスクール端末を活用いただける **授業動画(約7分)**を制作しています。



HPで公開中の学習指導案の例より

海洋教育授業動画の作成（令和3年度～）

【めざせ！ ぼくもわたしも船博士】（7分程度×3種類） 「海ココちゃんねる」で公開中

日本の食料輸入を支える「海上輸送のなぞ」をさぐれ！

日本の貿易を支える「船や港の役割と働く人のなぞ」をさぐれ！

自動車運搬船などをつくる「造船所のなぞ」をさぐれ！

令和4年度に上記動画のPR動画（YouTube版、SNS版）を制作し公開中

↓ オンライン授業ビデオを海洋教育に活用 ↓



海洋教育授業動画より

小学生を対象として海運、船員、造船分野の普段は見られない仕事の様子等を提示
⇒ 児童、教員、保護者の海洋や海事産業への興味・関心を高める

地方事業

海事産業に対する理解促進(各種理解促進の機会提供)

普段接する機会の少ない海運、造船等の海事産業や船員の職業に関する出前講義や施設見学等を通して、児童・生徒に体験型学習の場を提供するとともに、教員、保護者には、児童・生徒への海洋教育実施のための理解促進を図る。

令和5年度地方運輸局（11機関）事業実施数 143件

事業対象者：小中高校生、教員、保護者

実施内容：出前講座、施設見学、体験乗船等



体験乗船の様子

今後も事業を継続し、若年層の海洋や海事産業への関心や親近感の喚起を促す

海洋教育お役立ちガイドブックの作成・配布

現場の先生方に海事関係団体の取組みについてPRするため、海事関係団体の取組みについて取りまとめた「海洋教育お役立ちガイドブック」を作成し、「キャリア教育・進路指導担当指導主事連絡協議会」（令和6年5月21日開催）にて配布

海洋教育お役立ちガイドブック

海洋教育お役立ちガイドブック

各種イベント等に関する連絡先

団体名	連絡先	取組内容
①一般社団法人日本航海協会	企画部広報課 TEL: 03-3264-7181 mail: pub-off@japanet.or.jp	A①, B①, C①, D①, D②, ③, ④
②一般社団法人日本造船工業会	企画部 TEL: 03-3980-1963 mail: oshada@san.or.jp	A③, C②, C③, D①
③一般社団法人日本造船工業会	広報課 TEL: 03-3922-2955 mail: massack@caj.or.jp hayashi@caj.or.jp	A③, B③, C④, D②-D④
④日本船舶技術協会	広報課 TEL: 03-3263-4741 mail: nako-info@nako-asun.or.jp	A③, C②, C③, D②, D③
⑤一般社団法人日本造船工業会	広報部 TEL: 03-3265-9608 mail: habukayama-h@jships.or.jp	A③
⑥一般社団法人日本造船工業会	事務局 TEL: 03-3592-5033 mail: jyojo-01@jships.or.jp	A③, B③, C②, D③
⑦一般社団法人日本造船工業会	日本造船工業協会事務局 TEL: 03-5213-4778 mail: jiyamasaita@kaiyo-japan.org	A③, C③
⑧一般社団法人日本造船工業会	事務局 人材チーム TEL: 03-3922-2041 mail: nakajima@sinco.or.jp	B③, C②, C③
⑨一般社団法人日本造船工業会	広報課 TEL: 03-5510-3161 mail: amura_y@nichizu.or.jp	D③

取組み別にまとめ、先生方がすぐに連絡できるよう各団体への連絡先についても記載

コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動に係る協力団体等リストへの掲載

- ・文部科学省では、保護者や地域住民等が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」と、地域住民等の参画により地域と学校が連携・協働する「地域学校協働活動」の一体的な取組を推進している。
- ・コミュニティ・スクール等の仕組みを活用した関係団体・関係者との更なる連携促進、互恵的関係の構築・深化に向けて広く周知を図ることができるよう、趣旨に賛同・協力する関係団体等のリストに「海事分野」を掲載（令和6年5月）

コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動に係る協力団体等リスト

掲載団体（令和6年5月時点）	
金融分野 <ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人全国銀行協会 一般社団法人信託協会 一般社団法人全国地方銀行協会 一般社団法人第二地方銀行協会 一般社団法人全国信用金庫協会 一般社団法人全国信用組合中央協会 一般社団法人生命保険協会 一般社団法人日本損害保険協会 日本証券協会 日本行協会 （全国銀行協会、日本証券協会、日本行協会） 	社会福祉・労働分野 <ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人生涯学習のまち推進協議会（多世代交流・学びの場を推進する取組に力への支援） 全国食生活改善推進員協議会（一般社団法人日本食生活協会）（食育の推進、高齢者の支援等） 全国社会福祉協議会（福祉人材の育成、研修、ボランティア、福祉教育の推進等） 全国民生委員児童福祉委員連合会（生活の様々な相談支援を行う民生委員、児童委員活動の推進） 公益財団法人日本知的障害者福祉協会（知的障害者の支援、知的障害福祉の普及啓発等） 全国老人クラブ連合会（高齢者の見守り、介護、福祉、多世代交流等の活動推進） 一般財団法人ACCN（キャリアコンサルタントによるキャリア教育の推進等）
健康福祉分野 <ul style="list-style-type: none"> 一般財団法人児童健全育成推進財団（児童館の活動支援、児童福祉に関する調査研究等） 全国学童保育連絡協議会（学童保育の推進、学童保育の質の向上等） 一般財団法人全国学童保育連絡協議会（学童保育の推進、学童保育の質の向上等） （とりま）全国学童保育連絡協議会（学童保育の推進、学童保育の質の向上等） 	経済分野 <ul style="list-style-type: none"> 公益社団法人経済同友会 日本商工会議所 全国中小企業団体中央会 全国工芸士連合会（経済界との連携、交流、集約推進の活性化等）
人材分野 <ul style="list-style-type: none"> 更生保護法人全国保護司連盟（保護観察対象者の指導・支援、犯罪予防活動等） 全国人権擁護委員連合会（人権に関する相談対応、人権啓発等） 	自動車整備分野 <ul style="list-style-type: none"> 自動車整備人材確保・育成推進協議会（自動車整備に関わる人材の確保、育成等）
船舶関係分野 <ul style="list-style-type: none"> 公益社団法人青年海外協力協会（グローバル人材の育成、地域の国際化支援等） 	海事分野 <ul style="list-style-type: none"> 海事産業人材確保・育成推進協議会（海事産業に関わる人材の確保・育成等）

プロジェクト概要

海離れが指摘されている子どもや若者を始めとした国民全体に対して、海・船への興味・関心をより一層高めるとともに、海事観光や海洋レジャーの市場拡大していくため、平成29年夏に「C to Seaプロジェクト」を開始。

国土交通省と海事関係26団体が官民一体となった「海事広報活性化協議会」を設立して、海や船に触れる機会の創出と、海事・海洋に関する情報発信を行っている。

国民の海や船への関心を喚起する = 「海ってイね！」の共感を広げていくことで、**海洋教育の推進や海事産業の人材確保等**に寄与することを目指す。

本プロジェクトは、国土交通省や日本財団等を中心に産学官民共同で行う「海と日本プロジェクト」の一環です。

【シンボルマーク】



「国民 (Citizen)、子供達 (Children)、文化 (Culture) などの様々な「C」を「Sea (海)」につなげる。

事業実績

専用ポータルサイト・SNS運用



フォロワー1万人達成!



@c2_sea_project
フォロワー: 約10,750人



@c2.sea.project
フォロワー: 約2,130人



海ココちゃんねる
フォロワー: 約990人



(R6.3.25現在)

アンバサダーの任命



「C to Seaプロジェクト」アンバサダーとしてSTU48が就任 (2018年2月~)

海事観光サイトの新設



「船に乗りたい」、「海で遊びたい」など「やりたい!」ことから探す「海の旅」サイト

海事産業の仕事紹介



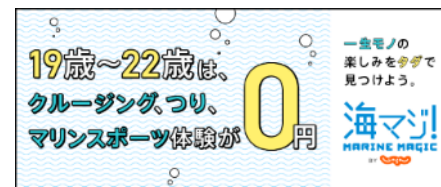
リアルな海の仕事集「SEA-GOTO」全国の公立中学校に1万部配布

マリナクティビティ啓蒙



マリナ体験紹介冊子「umiasoBe」誰でも気軽に「海遊び」を楽しむ方法を紹介

民間事業者の賛同企画



若者向けマリナレジャー・船旅需要喚起プロジェクト「海マジ!」(19~22歳無料体験) (主催: (株)リクルート)



御船印めぐりプロジェクト ((一社)日本旅客船協会 公認プロジェクト) (主催: 御船印めぐりプロジェクト事務局)

- | 全国紙 1社(共同通信)、エンタメ系 2社(東スポ、RBB)、専門紙 4社(日本海事新聞 他) 計7社が取材。
- | **Yahoo!ニュース**をはじめとする**15媒体でネット記事掲載**(6/26朝時点)、その他 各社X(旧Twitter)でもポスト。
- | 海技人材確保に向けた国の取り組みや、**内航海運の役割、メンバーが話す船員の仕事の魅力**についても記事に取り上げられた。

Yahoo!ニュース

- ・gooニュース
- ・auポータルNews
- ・Infoseek News
- ・livedoor News
- ・東スポWEB
- ・MSN News

エンタメRBB

ブロードバンドへのエントリーから活用までをカバーしたブロードバンド情報サイト

毎日新聞WEB

- ・Mapionニュース
- ・BIGLOBEニュース
- ・GREEニュース
- ・PR TIMES
- ・Pop'n Roll
- ・Head Topics

STU48・内海里音 斉藤国交相から内航海運の輸送概況を問われ即答「4割ですよ」

6/25(火) 15:32 配信

東スポWEB

瀬戸内7県を拠点に活動するアイドルグループ・STU48の高雄さやか(25)と内海里音(21)が25日、都内で行われた「C to Sea プロジェクトアンバサダー・STU48による斉藤大臣表敬」に出席した。

【写真】ニッコニコの斉藤大臣国交相

国土交通省は、内航船員をはじめとする海技人材の確保・育成の課題を解決し、船員の魅力などを発信するべく、海事振興施策「C to Seaプロジェクト」を行っている。

今回はアンバサダーを務めるSTU48から高雄と内海の2名が船員体験を実施。その報告会を兼ねて斉藤大臣国土交通相を表敬訪問した。

実際の船員が行う海上生活を体験した2人はこの日、さわやかな水色に猫のマークがポイントの衣装で登場。制作されたレポート動画を視聴しながら「カッコいいじゃん!」「すごいね!」と顔を見合わせて笑顔を浮かべた。

体験した感想について高雄は「誰もが夢である『船を切る。ことが体験できて良かった』と述べた。一方の内海は「非日常的な空間でいい経験になった」と語った。

また、高雄と内海から「日本国内の買物や生活が楽になっているのは何となくいいですね、いかがですか?」と聞かれる場面。これに内海は「わかります。4割ですよね。この取材を通して勉強しました」と真顔で答えてみせた。

エンタメRBB

STU48内海里音&高雄さやかが国交大臣を表敬訪問、船員の海上生活取材を報告

STU48の内海里音と高雄さやかが25日、国土交通省で斉藤大臣国土交通大臣を表敬訪問し船員の海上生活を取材して実感した「船員の仕事の魅力」等について報告した。

国土交通省では船員の働き方改善等、様々な海技人材確保に向けた施策を進めており、7月の「海の月間」の機会を捉え、船員の魅力を同月に集中的に広報する。その一環として、官民連携の海事振興施策である「C to Seaプロジェクト」のアンバサダーを務めるSTU48が船員の海上生活をレポートする動画を制作。この日は、船員の海上生活を取材した内海と高雄が斉藤大臣に取材の感想などを報告した。

大臣室に斉藤大臣を表敬訪問した2人。高雄は「船員さんのお話を聞いてからお客さんや荷物を目的地まで安全に届けることに使命感ややりがいを感じていてすごいな、カッコいいなと思いました」と笑顔で弾

C to Sea プロジェクトアンバサダー STU48船員さんの海上生活を取材レポート 斉藤鉄夫 国土交通大臣に直接ご報告!! (PR TIMES)

2024/6/25 18:22 (最終更新 6/25 18:22) 2595文字

情報提供 | **PR TIMES**

プレスリリースページの情報について

写真のご使用には(C)STUをお願いします。

瀬戸内7県を拠点に活動するアイドルグループSTU48の内海里音・高雄さやかがC to Seaアンバサダーとして船員の海上生活を取材し、その魅力を斉藤鉄夫国土交通大臣を表敬訪問し報告しました。

もいけど船旅もいいなと感じました! また、船員さんのお仕事を体験させていただいたのですが思っていた以上に大変で責任感のあるお仕事だなと感じました。船員さんが実際にしている「操舵命令」や「投げ綱」などもさせていただき船員さんたちがやりがいと使命感を持ってお仕事に取り組んでいる姿が本当に素晴らしいなと感じました! 人を乗せるだけではなくトラックで荷物なども運んでいて日本の物流も支えてくださっている姿をみて改めて感謝しましやないし船員さんの凄さを実感しました!

「海の日」行事(総合海洋政策本部、国土交通省、日本財団の共催) 海の日プロジェクトin汐留

体験型イベント

日 時:令和5年7月17日(月・祝)10:00~17:00
場 所:ベルサール汐留

オープニングセレモニー(挨拶、海洋少年団による手旗信号披露等。
進行はミス日本「海の日」。)

協賛団体・国・独法等各種海関係機関による展示ブース

- ★ワークショップ(例:ポスター作成または折り紙や塗り絵を活用した制作イベント)
- キャラクターによる公演 海上保安庁及び海上自衛隊の音楽隊による演奏
- 乗船券が当たる抽選会 海関係絵画作品(海の子展)展示 等



海の日特設サイトの設置

日 程:令和5年6月29日~7月31日

- 体験型イベントの詳細や会場案内
- SNS企画・海の日動画の紹介
- 子供向けページ 等



広報

日 程:令和5年6月6日~7月31日

- ポスター500部作製...私鉄各社の駅構内で貼り出し
- チラシ3,000部作製...関連団体・施設への発送
- SNSフィード広告の出稿 SNSによる情報発信
- 政府広報によるインターネット広告 等



SmartNews



概要

平成7年の「海の日」祝日化から実施。
このときは「海の日」が7月20日。

例年は「海の日行事」海と日本プロジェクト”
として7月第3月曜日(海の日)に「総合開会式」
「体験型イベント」を晴海埠頭で実施していた。

令和2~4年度は、新型コロナウイルス感染症
の感染拡大状況を鑑み、自宅にいながら海の
魅力や海事産業を楽しく知っていただくための
オンラインイベント「海の日プロジェクト」
を開催。

令和5年度は、4年ぶりに体験型イベントを
再開し、7月17日(月・祝)の「海の日」に
ベルサール汐留(東京都中央区)において
「海の日プロジェクトin 汐留」を開催した。